

喜多方の
五十嵐製麺

マレーシアに法人設立

中華料理チェーンと契約

契約を結びヘンリーCEOと握手を
交わす五十嵐社長（左から2人目）



技術を提供へ

喜多方市の五十嵐製麺は十日までに、マレーシアに現地法人を設立した。同国の高級中華料理レストランチェーンとパートナー契約を結び、喜多方ラーメンの製造で培った製麺技術を提供する。

五十嵐製麺の現地法人は「ヘンリー・イイ」最高経営責任者を展開するレストランチェーン「Dragon」の工場に、メニ（ドラゴン・アントナンス）や技術指導

などを担う。五十嵐製麺はアジア圏への自社製品輸出を目指しており、法人設立を足掛かりに販路を広げる考えだ。

五十嵐製麺は日本貿易振興機構（JETRO）福島貿易情報センターの新興国進出支援専門家派遣事業を活用した。この事業により海外に拠点を設けた企業は県内で初めて。五十嵐隆社長は「喜多方ブランドを広めていけるよう努力したい」と話している。

福島民友

16.3.11

海外で製麺技術指導へ

喜多方の五十嵐製麺

五十嵐製麺（喜多方市）は、マレーシアの首都クアラルンプールなど主要都市を中心に高級中華レストラン

26店舗を経営する「ドラゴン・アイ レストラン」と製麺技術の指導契約を締結した。環太平洋連携協定（TPP）を見据え、参加

国のマレーシアを足掛かり

に、アジア圏での輸出を拡大する考え。日本貿易振興機構（JETRO）福島貿易情報センターが10日発表した。締結は1月1日付。五十嵐製麺は今後、五十

嵐隆社長（62）や製造担当者が定期的に現地を訪れ、技術指導などの支援を本格化させる。



五十嵐製麺から技術指導を受けることになった現地の従業員ら